

編輯室の内外

第六十八回帝國議會が新春開會の劈頭衆議院は解散を命ぜられた、其の新聞號外の鈴の音が病床に横はる編輯子の耳朶に響いた、國防と國力充實との政策に基く昭和十一年度豫算を前にしての解散である、其處に政治上の責任が國民の判斷に依つて決定せらるゝのである、國民の政治的認識力のバロメーターが選舉である、國民は否は否是は是としての正義と公平なる認識を此一票の上に表明せねばならぬ。

選舉肅正の超大「○選舉肅正内務省」のつり看板が廳舎の正面にかゝげられて此運動に油がのつて來たことが證明さるる、隣警視廳では昨年既に氣球廣告としての看板をかゝげ櫻田門外空中に異狀あらしめたのである、客歳の府縣會議員選舉の結果は一部政黨人をして何をと高をくゝらしめたも内務首脳部に馬力を増さしむるの因を與へたので衆議院の解散不解散にかゝらは

ず本年施行さるゝ選舉には本格的肅正の功を奏せしむべく力瘤を入るゝことゝなつた希くは此運動が歪めらるゝことなく、誤解さるゝことなくして政治道德向上の動力となり政界淨化の良薬となりて眞誠なる議會制度の眞價を發揮せしむるに至らんことを。

道路改良の經費が年度豫算の形式に出でたる爲めに其の事業施行上少からざる損失と不便とを生ぜしめたことは數年來事實の證明する所である故に吾人は其の繼續事業として取扱はれんことを年來切望したのであるが昭和十一年度の豫算編成に際して大藏當局も内務當局の要求に賛同して茲に繼續事業として取扱ふの方針に出でたとの事である其の當然なることは眞に當然であるが路政に干與する者に取りては歡喜に堪へない福音である。斯くするに於て路政の進展は期して待つべく民力涵養の源泉は滾々として盡きざるの感がする。

英京に於ける軍縮會議は豫想の如く公正

至當な我國の提案が列國代表に依つて葬り去られた、永野全權の慎重と懇切とを以てしたる不脅威不侵略主義に基く日本提案の説明も優越力を認認したる歐米代表の耳に入らず、比率主義を以て金城鐵壁として抗争したので會議は決裂し、我全權は脱退を通告して孤立の状態に立ち至つた、嫉妬猜疑の心情群は新興の我國に對して如何なる方策を以て今後に處せんとするか海軍に依る國防上眞の非常時局は向後に在らざるなきか。(洗)

定價一部 五十錢
一ケ年分 金六圓

發行所 東京市麹町區外櫻田町一番地内務省内
社団法人 道路改良會
電話銀座(57)四二七

發行所 東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二
編輯者 小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五六
常磐印刷所
印刷者 奈良直一